

International Development Center of Japan **国際開発センター**

国際開発センターの研修事業 **～統計分析関連の研修を続々と実施～**

国際開発センター（IDCJ）は、1971年の設立（当初は財団法人）以来、開発業務の核は「人づくり」であるとの理念の下、人材養成を調査に並ぶ重要な事業の柱として注力してきました。2018年度は次の研修を予定しております。

①プロフェッショナル統計分析ワークショップ

「誰でも必ずわかる！」と毎回大好評を得ている研修講座です。基礎的な統計分析と回帰分析法を学んだあと、構造方程式モデリング（SEM）、階層線形モデル（HLM）、最新分析手法（DID、PSM、IV）を3日間かけて学びます。参加条件は、足し算、引き算、掛け算、割り算ができることと、エクセルを日常的に使っていることです。

②社会調査法ワークショップ

社会調査法は社会の状況や動向を科学的に知る方法です。開発の裨益者として、または開発の主体としての人々の生活や活動などを含めた途上国社会の客観的な状況を知ることが重要となっており、社会調査法はそのための強力なツールです。この研修は社会調査の基礎と開発途上国での実践をふまえた講義と実用的な演習を通して、受講生の方々が社会調査を設計し、運営できるようになることを目指します。

③保健・医療統計ワークショップ

“神の意志を知るためには、統計学を学ばねばならない。なぜなら統計学は彼の目的の測定手段だからだ。”

これは、「白衣の天使」フローレンス・ナイチンゲールの言葉です。「情熱の統計家」としても有名な彼女は、膨大なデータを統計的に分析して傷病兵の死亡原因が劣悪な衛生環境であることを突き止めました。この研修では、国際保健事業の事例を交えながら、保健・医療統計学の「考え方」を身に付けることを目的と



NPO・NGOのためのインパクト評価研修の様子

して実施します。

④統計学のための数学ワークショップ

『統計学が最強の学問である』（西内啓著）が35万部の大ヒットを記録したことは記憶に新しいところです。同書では、ビックデータ時代において統計学が最強の武器となると断言しています。この研修では、最強の武器である統計学を駆使するために必要な数学を、一日かけてじっくりと学びます。

⑤NPO・NGOのためのインパクト評価入門

「事業の改善のために評価を役立てたい」「事業の効果を定量的・客観的に示すことはできないだろうか」「最近はやりのインパクト評価を導入してみたい」。こうしたNPO、NGOの声に応えるための研修講座です。『インパクト評価の代表的なデザインと適用事例』『エクセルを使った統計分析』を1日かけてじっくり学びます。

（文責：国際開発センター 主任研究員 佐々木 亮）

研修名	日 時	講 師	参加費
プロフェッショナル統計分析ワークショップ*	2018年度6月(3日間)	佐々木亮、高木桂一(IDCJ主任研究員)／外部講師	70,000円
社会調査法ワークショップ	2018年度4月(2日間)	高木桂一(IDCJ主任研究員)	50,000円
保健・医療統計ワークショップ	2018年度前期(2日間)**	諏訪裕美(IDCJ主任研究員)／外部講師	50,000円(予価)
統計学のための数学ワークショップ	2018年度前期(1日間)**	酒寄晃(IDCJ研究員)	20,000円(予価)
NPO・NGOのためのインパクト評価入門	2018年度前期(1日間)	佐々木亮(IDCJ主任研究員)	廉価(ウェブで公表)

*講師は変更になることがあります。**具体的な日程は今後決定されます。

最新の研修の情報は当センターのホームページ(<http://www.idcj.co.jp/>) および各種メーリングリストでご案内します。